



山形県立谷地高等学校 創立100周年記念式典

1921 **100**th 2021
YACHI
anniversary



令和3年10月22日

山形県立谷地高等学校

創立 100 周年記念式典

午後 1 時 30 分～ 2 時 30 分
県立谷地高等学校体育館

次 第

1. 開式の辞
2. 国歌静聴
3. 山形県民歌「最上川」静聴
4. 校長式辞
5. 創立 100 周年記念事業実行委員会会長挨拶
6. 来賓祝辞
7. 来賓紹介・祝電披露
8. 生徒代表挨拶
9. 感謝状贈呈
10. 校歌静聴
11. 閉式の辞



題字：栗原三宜 寄贈：岩田正巳・栗原三宜

生徒発表

生徒発表プロジェクトチーム



東海林大雅	押野 優太	井上 叶	吉田 元
今井 鈴花	大沼 真白	芦埜 彩華	井上 愛菜

記念パネルディスカッション

午後2時45分～4時00分
県立谷地高等学校体育館

パネリスト

1. 安藤 耕己氏 (山形大学地域教育文化学部教授)
2. 岡崎 エミ氏 (東北芸術工科大学デザイン工学部准教授)
3. 松原 知子氏 (東北公益文科大学卒業生《第1期生》新庄市役所総合政策課)
4. 芦埜 貴之氏 (本校PTA会長、河北町商工会商工振興課長)
5. 今井 鈴花さん (本校生徒会長)

感謝状受賞者

1. 升川 修 (升川建設株式会社 代表取締役社長)
2. 塚田 莊一郎 (日東ベスト株式会社 代表取締役社長)
3. 黒田 元喜 (株式会社黒田組 代表取締役)
4. 佐藤 司 (つかさ内科医院 院長)
5. 木村 文浩 (カヌ一部顧問)

(順不同・敬称略)



100周年記念事業

1. ICT等学習環境整備事業
2. 谷地高等学校100周年記念誌編纂事業
3. 教育振興基金設立事業
4. 創立100周年記念式典・記念パネルディスカッション



山形県立谷地高等学校校歌

作詞 丸山 薫
作曲 信時 潔

一
最上の流その昔の
栄をつとう谷地の郷
ひろ野をめぐる遠嶺の
姿に映ゆる学び舎は
床し その名ぞわが母校

二
山と水とのががよいに
こころも清く洗われつ
濁りに染まぬ若人が
真理の扉ひらかんと
つどうゆくてに幸多し

三
はがねの腕 愛と智を
ゆたけく胸にはぐくみて
正しき世をば築きなん
蒼ぞら高くゆく雲に
希望はばたく想いかな

四
まことの道は遠くして
三年の月日過ぎやすし
桜桃みのる木下蔭
睦みもかたく手をとりて
いざや 励まん わが友よ



山形県立谷地高等女学校校歌

作詞 土井 晚翠
作曲 中田 章

一
流れて休まず 海へと進む
最上の大川 その岸近く
雲井の月山 仰ぎて立てる
学びの我庭 栄えよ永く

二
高きはあなたに遠くはここに
朝夕くむべし自然のさとし
日本の東北 羽前の谷地を
名に負う校舎に集まる姉妹

三
徽章にこまれる 教を思ひ
ををしき操と やさしき情
兼ねつつ勉めて進みてやまじ
みそらの星影 我等の理想



谷地高等女学校 本校全景
(1928年ごろ)